

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

駅前のお古本屋で、百円の文庫本を買った。家に帰ってページをめくると、ところどころに鉛筆で線が引いてあった。前の持ち主のものだろう。はじめは、せっかくの本が汚れているようで、少しいやな気がした。けれども、読み進めるうちに、線の引き方が気になってきた。主人公が友人を裏切る場面の前後には、何本も線が重ねて引いてある。あるページの余白には、小さな字で「分かる」と書いてあった。主人公が、自分の弱さを誰にも言えずにいる場面だった。

ぼくは、その「分かる」の字をしばらく見ていた。字は少しふるえていて、急いで書いたように見えた。この本を読んだ誰かも、主人公と同じように、誰にも言えないことを抱えていたのかもしれない。そう思うと、会ったこともない人が、すぐ近くに座っているような気がした。

物語の後半になると、線はだんだん少なくなった。最後の章には、一本も線がなかった。前の持ち主は、ここまで読まなかったのだろうか。それとも、線を引くのも忘れるほど夢中になったのだろうか。ぼくには分からなかった。

最後のページを読み終えたとき、ぼくは机の引き出しから鉛筆を出した。そして、主人公がようやく友人に本当のことを話す場面に、一本の線を引いた。余白に何か書こうとして、少し迷ってから、「ここまで読んで」と書いた。

いつかこの本を手放すことがあったら、次に読む誰かは、ぼくの線を見つけるだろう。その人は、ぼくの字を見て、何を思うだろうか。ぼくは本を閉じて、表紙の手ざわりを確かめるように、そつとなてた。

(この問題のための書き下ろし)

問一 線が引いてあるのを見て、ぼくははじめどう感じましたか。本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。

[illegible]

問二 「会ったこともない人が、すぐ近くに座っているような気がした」とありますが、このときのぼくの気持ち

ちとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 前の持ち主が本を汚したことに、腹を立てている。

イ 書き込みを通して、前の持ち主の思いを身近に感じている。

誰かに見られているようで、
気味が悪くなっている。

工 前の持ち主を探して、本を返したいと思っている。

問三 最後の章に線がなかったことについて、ぼくはどう考えましたか。最も適切なものを、次のア～エから一

つ選
びな
さい。

ア 前の持ち主は最後まで読まなかったのか、夢中になって線を忘れたのか、分からないと思った。

イ 前の持ち主は、最後の章がつまらなかったのだと決めつけた。

古本屋が、最後の章の線だけを消したのだと思った。

工 自分も最後の章には線を引かないでおこうと決めた。

問四　ぼくが余白に書いた言葉を、本文中から十字以内で抜き出さない。

[illegible]

問五 ぼくが「ここまで読んで」と書いたのはなぜだと考えられますか。前の持ち主の線のことについて、五十字以内で説明しなさい。

[illegible]